

豊南小学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

- ・当校は、「豊かな情操とたくましい身体を養い、自分の考えで実践できる子を育てる」を学校理念として、E S Dを学校理念実現のための手段と捉え、E S Dの実践を通して、仲間や地域と関わり合う力の育成を目標とした。
- ・具体的には、たけのこフェスタ、家族の木を柱に、①地域の環境に関わる活動②農業に関わる学習を行った。

・活動の実際

①地域の環境に関わる活動（全校）

当校の周りには畑が広がり、森林、竹林といった自然も多い。学校内の森林、竹林で、子どもたちはさまざまな活動をしている。

毎年4月に開催する、1年生を迎える会である「たけのこフェスタ」では、P T Aの役員さんや地域のボランティアさんが調理したたけのこのみそ汁を味わう。たけのこは今年度の5・6年生が掘ったものである。また、みどりの少年団によるクイズや、たてわり班で竹林や果樹園を散策して楽しむ。果樹園では、「家族の木」を、1世帯で1本世話をし、果樹を育てている。子どもたちは定期的に観察したり、世話をしたり、収穫したりして、家族で話題にしている。



たけのこフェスタ

②農業に関わる学習（5年生）

当校には水田があり、5年生がP T Aや地域のかたの協力を受けながら稲を育てている。子どもたちは、春に代かきや田植えをし、秋には稲刈りをしている。刈った稲は、天日干しをしたのち、脱穀をする。収穫された米は、調理実習で使われる。また、学校内の竹林からたけのこを掘ったり、シイタケを栽培したりするなど、地域の豊かな自然が生活に根づいている。



田植えの様子

① 地域の環境に関わる学習（6年生）

総合の学習「たけのこタイム」でSDGsについて調べた6年生。地域の環境に関心を持ち、校区内にある表浜海岸の環境調査を行った。ペットボトルや釣り糸などのプラスチック製品をはじめ、多くのごみが漂着したり捨てられていたりすることがわかり、校区をきれいにしたいという思いをもち、清掃活動を行った。



清掃活動の様子